

特集 糖尿病学会へ行きました（その2）！

先月は健康教室への参加者がありました。感想としては、しっかり治療した人と、しなかった人の違いがくっきりと出ていたことを学び、「主治医は自分」であることを認識したとのことでした。炭水化物（沖縄そばなどの麺類、ご飯と麺の組み合わせ、パン食の回数）が多いこと、食べ方の順番（野菜を先に食べること）に気をつけることなどの指導も参考になったようです。

また今月も栄養指導がありますので、受講希望者は声をかけて下さい。

前回に引き続き、第57回日本糖尿病学会学術集会に参加したスタッフの感想（後半）です。

看護師 又吉：OLCDE

病態に分けて、早期から介入することによって予後が決まると言う言葉が印象的でした。血糖コントロールの重要性を感じました。

臨床検査技師 白根：OLCDE

初めての日本糖尿病学会は驚きの連続でした。会場の広さ、人の多さ、講演・シンポジウムなどのプログラムの多さ……。糖尿病治療の重要性を改めて考えさせられた学会でした。どの講演を聞こうかとあらかじめ考えて行きましたが、身体がもうひとつあったらと思うほどあちらこちらで色々な講演が開催されていました。その中で私が参加した講演は糖尿病の基礎を中心としたもので、神経障害、糖尿病と癌の関係、臨床指標については特に理解が深まったと感じています。これからも LCDE（沖縄県地域糖尿病療養指導士）として勉強し貢献していきたいと思えます。

時間割表

7月17日（木） 健康教室
2時間目給食あり

7月19日（土） 個人栄養指導

栄養指導担当講師

古川高子先生

岡田芽衣子先生

<編集後記>

サッカーワールドカップ
残念な結果でした。夏至も
過ぎ、梅雨も明けたので、
運動頑張りましょう！